

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-5	戸開走行保護装置（UCMP）検査における制動距離の検査方法 （巻上機型式 SHR-900, SHR-2000, SHR-4000）	2011-05-21

まえがき

本説明書は、戸開走行保護装置（UCMP）におけるブレーキ制動力の状況を判定するにあたり制動距離を確認するための手順書です。

本説明書は、昇降機検査資格者（建築基準法に定められた検査資格者の資格を有する者、もしくはその指導を受け同等の技術を有する者）及び制御システム、制御装置構成に関する基本的知識をお持ちの専門技術者の方を対象に記載しています。

作業に当たっては、必ず事前に本説明書を熟読し、記載している指示に従って操作を行ってください。説明書に記載した以外の行為・操作は禁止します。説明書に記載した以外の行為・操作を行った場合は機器の損傷など安全が損なわれることがあります。説明書に記載した以外の行為・操作を行ったことによる機器損傷あるいは事故が発生した場合には、当社としては一切の責任を負いません。




本説明書は大切に保管し、管理徹底をお願いします。
製品の移設・転売の際は、必ず製品と共に取り扱い説明書を引き継いでください。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-5	戸開走行保護装置（UCMP）検査における制動距離の検査方法 （巻上機型式 SHR-900, SHR-2000, SHR-4000）	2011-05-21

安全上のご注意

本説明書には、作業される方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、作業を安全に正しく実施していただくために、重要な内容を記載しています。次の内容を（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]





表示	表示の意味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷（*1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

[図記号の説明]

図記号	図記号の意味
 禁止	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-5	戸開走行保護装置（UCMP）検査における制動距離の検査方法 （巻上機型式 SHR-900, SHR-2000, SHR-4000）	2011-05-21

一般禁止・注意事項

製品・利用者・作業者の安全性維持の為に作業時の禁止事項（注意事項）を以下に列挙します。内容を把握し、遵守して下さい。

エレベーターシステムの不適切な操作・作業は故障や破損・災害を引き起こす要因となります。万一本説明書に記載した以外の行為、禁止している操作等を実施し、直接的若しくは間接的な不具合に至った場合には当社としては責任を負いかねますので予めご了承ください。

危険

- 1) エレベーター制御盤を指示なく改造する事を禁止します。
装置の誤動作・発炎・発火等の要因ともなり作業者自身にも危険が及ぶ場合があります。
- 2) 部品交換に際して純正部品以外の使用（流用）を禁止します。必ず指定用品を用いて下さい。
- 3) エレベーター制御盤において調整保守時に使用するスイッチ部以外の盤内部品に電源投入状態にてむやみに触れる事を禁止します。感電の危険があります。
- 4) 安全回路・ドア回路を短絡して使用する事を禁止します。
非常時の各種保護が動作せず、異常走行の原因となり大変危険です。
- 5) 事前にかごの位置を確認しないで、のりばドア解除キーにてホールドアを開放することを禁止します。昇降路に転落し死傷する恐れがあります。
- 6) かご上に乗る時、かご上安全スイッチを停止およびかご上点検スイッチを点検にする前に乗ることを禁止します。また、乗り込みに十分な余裕がある位置にかごを停止させる前に乗ることを禁止します。
- 7) 保護具(安全帯、保護帽等)を着用せずにかご上に乗る事を禁止します。また、かご昇降中に於いてはかご上保守作業用手すりよりはみ出す事を禁止します。
衝突・転落の危険があります。
- 8) エレベーター機械室内には発熱部・可動部・回転部等多くの危険要素が存在します。原則として専門技術者以外の入室は禁止です。施錠管理等をしっかりと行い、一般利用者が立ち入らない様注意してください。
誤動作・いたづら等によるシステム異常発生を防止する意味もあります。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-5	戸開走行保護装置（UCMP）検査における制動距離の検査方法 （巻上機型式 SHR-900, SHR-2000, SHR-4000）	2011-05-21

1. 適用

適用を表 1 に示します。

表 1. 適用表

巻上機型式	記事
SHR-900	巻上機ピット設置型
SHR-2000B	巻上機ピット設置型
SHR-4000B	巻上機ピット設置型

2. 検査方法

次の手順でかご無積載、上昇運転でのブレーキ制動距離を確認してください。

- (1) 制御盤内操作盤のMDS3、HBS、FDS、CDS各スイッチを「点検」に切替えます。
- (2) 最上階にてかご上に乗込める位置まで制御盤にて点検下降運転し、最上階のりば戸をドア解錠キーにて開け、かご上操作盤の安全スイッチを「停止」、点検スイッチおよび頂部確保スイッチを「点検」に切替え、かご上に乗ります。

* 最上階上方向リミットスイッチ（2LS）と頂部安全距離確保スイッチ（1OLS）のケーブル入替え

- (3) 制御盤にて主電源ブレーカー（NFB1）を遮断し最上階上方向リミットスイッチ（2LS）のケーブルを外します。
- (4) 次に、頂部安全距離確保スイッチ（1OLS）に接続されているケーブルを外し（3）で外したケーブルを頂部安全距離確保スイッチ（1OLS）に仮接続します。
- (5) （4）で外したケーブルを最上階上方向リミットスイッチ（2LS）に仮接続します。また、仮接続したケーブルがたるんで、走行時にかご機器等に引掛らないことを確認します。

* ブレーキ制動距離測定

- (6) かご上から降り、かご上操作盤の点検スイッチおよび頂部確保スイッチを「平常」、安全スイッチを「平常」に切替えます。
- (7) 主電源ブレーカー（NFB1）を投入し、かごが入替えた最上階上方向リミットスイッチ（2LS）にて停止するまで制御盤で点検上昇運転します。
- (8) 主電源ブレーカー（NFB1）を遮断し最上階のりば戸をドア解錠キーにて開け、停止したかごの敷居と最上階のりば敷居間の距離を測定し、のりば戸を閉じ、記録します。（記録L1）
- (9) 最上階上方向リミットスイッチ（2LS）が動作し、安全確認リレーが遮断されているため回路間を仮接続しかごを移動させます。

（制御盤内端子台53-53A間、補助操作盤がある場合は53-53B間を仮接続する）

仮接続している線は、外し忘れを防止するため赤色等、一目でわかる線を使用してください。

- (10) 主電源ブレーカー（NFB1）を投入し制御盤にてかごが最上階上方向リミットスイッチ（2LS）より外れる位置まで点検下降運転します。
- (11) 制御盤にて主電源ブレーカー（NFB1）を遮断し回路間を仮接続している線を外します。

管理番号	検査項目	掲載日
9-D-5	戸開走行保護装置（UCMP）検査における制動距離の検査方法 （巻上機型式 SHR-900, SHR-2000, SHR-4000）	2011-05-21

- （12）主電源ブレーカー（NFB1）を投入し制御盤内操作盤のMDS3、HBS、FDS、CDS各スイッチを「平常」に切替えを行うと最寄階へ下降運転で移動します。
- （13）制御盤にて最上階へ無積載で平常上昇運転すると、入替えた最上階上方向リミットスイッチ（2LS）で停止します。
- （14）（8）と同手順で距離を測定し記録します。（記録L2）

L2-L1=ブレーキ制動距離 となります。

* 最上階上方向リミットスイッチ（2LS）と頂上安全距離確保スイッチ（10LS）を元に戻す

- （15）（1）、（9）～（11）と同手順でかごに乗れる位置まで移動します。
- （16）（1）（2）と同手順でかご上に乗ります。
- （17）制御盤にて主電源ブレーカー（NFB1）を遮断し、（3）（4）にて入替えたケーブルを元の状態に復帰し、主電源ブレーカー（NFB1）を遮断し、リミットスイッチの動作を確認します。
- （18）元の状態に復帰したケーブルが走行時にかごに引掛らないことを確認します。
- （19）（6）と同手順でかご上から降ります。
- （20）制御盤内操作盤のMDS3、HBS、FDS、CDS各スイッチを「平常」に切替え平常運転にて異常がないことを確認します。
- （21）終了。

3. 判定基準

制動距離の判定は、管理番号9-D-2「戸開走行保護装置（UCMP）の検査基準」に記載の判定基準（SHR巻上機シリーズ）により判定してください。